



The SUITO thinker

SUITO

Academic Fair

2025年 2月 8日(土)

研究授業・生徒発表

場所：大阪府立水都国際中学校・高等学校 大阪市住之江区南港中3丁目7-13
主催：大阪府立水都国際中学校・高等学校

参加
申し込み

参加を希望される方は、本校公式HP
(<https://osaka-city-ib.jp/>) からお申込みください。
応募者多数の場合は早めに募集を終了する可能性があります。



参加申し込みに関する問い合わせ

☎ 06-7662-9601

担当：藤田(school-inquiry@osakaymca.org)

#SuitoAcademicFair

SCHEDULE

8:40	開門				
9:00	開会式 9:00- @2F 大ホール				
9:30		ポスターセッション 9:30- @2F 体育館		展示 Creative Learning @新棟 1F IB Visual Arts @既存棟 3F	
10:30	プレゼンテーション 10:30- @2F 大ホール		ワークショップ 10:30- @各教室		
11:15			ワークショップ 11:15- @各教室		
11:45	休憩				
13:15	全体会 @大ホール				
13:50	IB国語 13:50-15:20 @ICT room	IB英語 13:50-15:20 @Seminar room			TOK展示 13:50-15:20 @新棟 3F
15:20					
15:30			座談会 15:30~16:30 @既存棟 3F		
16:30					
17:00	退出				

撮影は生徒の顔が写らないようにお願いいたします。また、ブログやSNSでのアップロードにつきましては、「#水都AcademicFair」のハッシュタグをつけていただけますと幸いです。

Please take photos so that students' faces are not visible. And also, We would appreciate it if you could use the hashtag "#SuitoAcademicFair" when uploading your photos on blogs & SNS.

OUTLINE

大阪府立水都国際中学校・高等学校ではさまざまな探究的な学びが同時進行で進んでいます。Academic Fairはそれらの学びの成果を発表し、学校においてどのような学びが生まれているかを確認め合い、高め合い、そして外部の人にも知ってもらうために開催されるものです。

At Osaka Prefectural Suito Kokusai Junior and Senior High School, a variety of exploratory studies are going on at the same time. The Academic Fair is held to present the results of these studies, to confirm and enhance what kind of learning is taking place at the school, and to let the outside world know about it.

Suito Action Project for SDGs(SA)



Suito Action Project for SDGs(SA)はSDGsへの貢献を目指し、生徒それぞれの興味関心によって集まった中学1年～高校3年生の混成チームが、様々なアクションプロジェクトを行っています。それぞれのチームは1年間を通しプロジェクトを実施し、課題を発見し、活動成果の確認までを経験します。

The Suito Action Project for SDGs aims to contribute to the SDGs through a variety of action projects conducted by mixed teams of students from the first year of junior high school to the second year of senior high school, who have come together based on their individual interests. Each team spends a year implementing the project, from discovering issues to checking their action results.

International Baccalaureate(IB)



国際バカロレアは、国際バカロレア資格を与えるために開発された総合的な教育プログラムで、多様な文化の理解と尊重の精神を通して学ぶ若者の育成を目的としています。本校は、IBディプロマプログラム(IBDP)の認定校として、高校2年生、3年生にDPプログラムを実施しています。

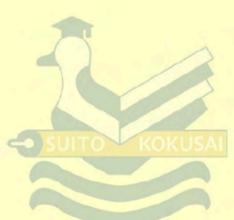
The International Baccalaureate is a comprehensive educational program developed to grant the International Baccalaureate Certificate, which aims to develop young people who learn through understanding and respect for diverse cultures. As an accredited IB Diploma Program (IBDP) school, we offer the DP program to second and third year high school students.

Creative Learning(CL)



「つくる」ことを通し学びを深める「Creative Learning」の時間を中学校の総合的な学習の時間を使い実施しています。4月からスタートしたアート思考、デザイン思考、デバック思考の考え方を活用し、調査、構想、制作、言語化、展示の学び方を体験し、自らに深く潜る問題発見と世界を汲み取る課題解決の力を育む取り組みです。

The "Creative Learning" program, which is designed to deepen students' learning through "creation", is being implemented during the middle school's integrated learning period. This is an initiative to nurture the ability to discover problems that lie deep within oneself and to solve problems by understanding the world.



IB OPEN SESSION

現在IBDPを学んでいる水都生がどのように学び、成長しているかを共有することで、主体性や探究心を示す機会を提供することを目的としています。また、参加者のみなさまとのつながりを強化し、学校と外部関係者との関係を築くことでコミュニティの形成を目指します。加えて、授業や教育方針に対するフィードバックを収集し、教育プログラムの質の向上や学校運営の改善につなげます。

The purpose of this event is to provide an opportunity to show initiative and inquisitiveness by sharing how Suito students are learning and growing. We also aim to build community by strengthening connections with all participants and building relationships between our school and external stakeholders. In addition, feedback on lessons and educational methodologies will be collected to improve the quality of educational programs and school operations.

IB国語

授業者：濱野天司郎

会場：ICT Room
(既存棟3階)

概要

本ユニットは最終試験（Paper2）で求められる比較を通じて夏目漱石『こころ』を読み深めることをねらいとする。
本時では単元の総括として、夏目漱石『こころ』と既習の文学作品（村田沙耶香『コンビニ人間』・カレルチャペック『白い病』）との比較分析プレゼンテーションを行い、それをふまえたディスカッションを展開していく。

IB英語

授業者：Gokce Delioglu

会場：Seminar Room 3-A
(既存棟3階)

概要

本ユニットはHuman Ingenuity（人間の創意工夫）というテーマで探究するものである。
本時はその中で「教育」に注目し「学校で何を教えるべきか」という問いを中心に、日本・オランダ・オーストラリアの教育システムを比較していく。
その中で生徒は、世界の教育で何が重要視されているかについて批判的に検討し、議論する。

TOK展示

担当者：郭山楂

会場：Co-Lab 3-2 / Global Studio
(新棟3階)

概要

水都国際ではIBコア科目であるTOKをコースに関わらず履修しており、今回の展示を2年次GC,GSコースTOKの総括的評価として位置づけている。生徒は6つのプロンプトから1つを選択し、コメンタリーと呼ばれるエッセイの作成、それに基づいた発表を行う。コメンタリーは所定の場所でも閲覧可能ですので、発表前にご覧いただければ幸いです。

DP Visual arts Pre展示

担当者：藤田勝如

会場：CL Room / IB Art Room
(既存棟3階)

概要

DP Visual artsには3つの評価課題（比較研究・プロセスポートフォリオ・展示）があり、それぞれの課題に2年間かけて取り組む。
今回は内部評価であり2年間の制作の集大成にもなる「展示」にむかうために、空間設計や展示意図の作成を学ぶ「Pre展示」を実施している。



IB ROUNDTABLE

Group1	IB国語
国語科で探究的な学びを行うにあたって IB言語と文学から学べること	
探究的な学びを教科でいかに実現するかについては近年模索され始めています。教科において探究的な学びを行うにあたり、探究的な学びを軸に据えたIBのカリキュラムに学ぶことは多いと考えています。本座談会では本校におけるIB国語「言語と文学」の実践をご紹介しつつ、参会者の皆様とともに本主題に迫っていただくと考えております。	
Group2	IB英語
Unlocking the English B Assessments: IA, Paper 1 and Paper 2	
The International Baccalaureate Diploma Programme English B course offers students diverse learning opportunities centered around five core themes: Identities, Experiences, Human Ingenuity, Social Organization, and Sharing the Planet. These themes provide a foundation for exploring contemporary global topics and form the basis of the course assessments: Paper 1 (Writing), Paper 2 (Reading and Listening) and the Internal Assessment (Speaking). This session will provide an in-depth look at how each assessment is evaluated, featuring sample student work, rubrics, and guidance from the English B curriculum.	
Group3	IB歴史
国際社会で活躍する生徒に、 中高生時代に伝えておきたい社会科	
将来、日本を飛び越えて海外で活躍することを目標にしている生徒が多い水都国際。その学びには、より広い視野とより深い洞察が求められます。そして、その獲得には様々な知識や教養を土台とする探究学習が必要となります。座談会では、地理総合で毎年夏休みに課しているテーマレポート（通称：ラブレター）を題材に議論させて頂きたいと思っております。	

Group4	IB化学／IB生物
Assessment Methods for Skills	
Group4の授業では、統計と実験、エッセイの作成が不可欠です。またIA(Internal Assessment)やEE(Extended Essay)といった、自ら学びを深める課題が設定されております。これらIAやEEの例を共有して、どのように日本のカリキュラムと組み合わせ、生徒の力を伸ばすことができるかを議論できたらと思っております。	
Group5	IB数学
Math IA (Internal Assessment)	
IB数学IA（内部評価課題）は、コミュニケーションスキルを重視しながら創造性と問題解決能力を育みます。数学IAの性質や評価基準について学び、実際の水都生の課題をご覧いただきます。	
The IB Math IA encourages creativity and problem-solving while highlighting communication skills. Join us to learn more about the nature of the task, the criteria used in this assessment, and then examine some of the work done by Suito students.	
Group6	IB美術
IB DP Visual Artsと探究的な学び	
IB DP Visual Artsは、学習者中心の探究的な学びが生まれる魅力的なカリキュラム設計が特徴です。他の教科と異なり、最終試験がない代わりに、2年間の学びの成果を課題として提出する評価形式を採用しており、この成果課題に向けて探究的な学びがどのように深まったかが明確になるような評価課題の構成となっています。本座談会では、DP Visual Artsの学びの設計の特徴や、本校での実践例を共有しながら、芸術を通じた探究の可能性について参加者の皆様と議論する場を設けたいと考えています。	

IB ROUNDTABLE

CORE	CAS (Creativity, Activity, Service)
CASにおけるフィードバックのあり方	
<p>IBDPのコアであるCAS（創造性・活動・奉仕）では、生徒は最低18ヶ月間にわたって定期的に、「創造性」「活動」「奉仕」の少なくともいずれか1つに該当する活動に取り組み、振り返る。その振り返りの範囲はCAS活動の内容から自分自身の内的成長まで多岐にわたるため、スーパーバイザー・コーディネーターからのフィードバックを必要とする。今回の座談会では、参加される方々の実際のフィードバック方法やアイデアを共有しあいながら、「最も効果的なフィードバックとは何か」について考える機会としたい。</p>	

Career	進路
一条校におけるIB進路指導担当者が抱える問題	
<p>IBDPの進路指導は多岐に渡る。この会では日本語DPを持つ一条校に焦点を絞った上で、水都国際での取り組みをケーススタディとして、各校が抱える問題を共有し、今後どのような進路指導が現実的に可能であるか考える機会としたい。</p>	